

News Release

2015年9月7日

報道資料

HEREと自動運転・高度運転支援における“高度化地図”の活用に関する協業に向け基本合意

パイオニアと、HERE (本社:ドイツ・ベルリン市、社長:Sean Fernback)は、共同での自動運転・高度運転支援向け高度化地図の活用に関し協議を進めることに合意しました。これは、当社が開発を進めている、高性能・小型・低価格を実現する走行空間センサー「3D-LiDAR (ライダー)」により整備する高度化地図データとの連携可能性を鑑み、今回の合意に至ったものです。

本合意は、HERE が保有する自動運転・高度運転支援向け地図の整備や活用において、当社が本年9月1日に発表した走行空間センサー「3D-LiDAR」を活用し、来る自動運転時代に向けた高度化地図の活用について両社の連携を協議していくことを目的としています。

【協議検討の主な内容】

高度化地図の活用に関する連携

- ・HERE が保有する自動運転・高度運転支援向け地図の提供
- ・当社が開発している走行空間センサー「3D-LiDAR」の提供

時期などの詳細については、両社において今後協議を進めてまいります。

【自動運転・高度運転支援に関するパイオニアの取り組み】

当社は、これまで培ってきた光ディスク関連技術を活かし、車載用途に適した高性能で小型・低コストな「3D-LiDAR」の開発を進めています。また、カーナビゲーションで培った技術に加え、2006年にプローブ情報を活用した独自のネットワークシステム『スマートループ』を立ち上げており、地図整備子会社であるインクリメント P 株式会社の地図制作、更新ノウハウと連携させることで、一般車両からの周辺情報を自動的に収集し、高度化地図データを更新して配信する効率的な整備・運用システム(データエコシステム)の構築・提案を目指しています。

【HERE について】

HERE は、様々な機器およびオペレーティングシステムに対して、世界最高クラスの地図と位置情報エクスペリエンスを提供しています。HERE は、高精度(HD)地図を開発しており、クラウド・サービスと連携した車載システム、スマートフォン、タブレット、ウェアラブル機器などの幅広いコネクテッド・デバイス向けのリアルタイムな位置情報エクスペリエンスを実現します。HERE の詳細については <http://360.here.com> をご覧ください。